2017年9月29日(金)

VOL.7 第66号

横浜市テニス協会ニュース

YOKOHAMA TENNIS ASSOCIATION NEWS

発行 横浜市テニス協会 総務部 〒231-0028 横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアービル306号 TEL045-663-0557 FAX045-663-0558

第71回 横浜市民体育大会テニス競技

〈ダブルス〉

第71回横浜市民大会テニス競技ダブルスが、平成29年4月1日(土)より横浜市営各コートにてはじまり、6月3日(土)新杉田コートでの一般男子決勝戦をもちまして無事終了いたしました。

今年も例年になく各種目で熱戦が展開されました。一般男女の決勝戦につきましては、男子はベテラン同士の対戦となり、わずかな差で青山・松本ペアが優勝しました。両ペアとも年齢を感じさせないプレーを披露し、観客の方々の応援も、大変盛り上がっていました。

一方では、学生を含む若手の活躍に期待したい思いに駆られた大会でもありました。女子では、ベテランの梅田さんの技と若い眞仁田さんのパワーがうまくかみ合い、見事梅田・眞仁田ペアが優勝に輝きました。ダブルスのスペシャリストと呼ばれる選手は、試合の要所要所でペアの長所をいかに引き出すことが出来る能力を持っていることが重要であり、パートナーがその要望に応えることが出来たときに、素晴らしいコンビネーションを発揮する典型的な試合内容でした。

各年令別では、初夏を思わせるような暑さの中、ひたむきにボールを追う姿や、ポイントを取りに行く執念、ペアを思いやる言動など、年令を重ねられてきた方々のプレーを見ていると、その選手それぞれのテニスに対する姿勢や、人生における存在意義のようなものを垣間見ることが出来、別の視点から、改めて参加選手の方々をリスペクトするとともに、テニスの奥深さを感じることが出来ました。

最後になりますが、今大会の運営に関しましてご協力いただきましたJTA審判員、協会理事、運営委員の方々にあらためて御礼申し上げます。 (市民ダブルス競技委員長 中嶋)

〈一般男子の部優勝〉

初日突破の目標が最高の結果に

青山 昇・松本 康樹組(エバーグリーンTF横浜)

まず始めに大会運営の関係各位の皆様には雨で延期が続き調整作業にご尽力いただきましたことお礼申し上げます。前年度は、練習不足による初戦敗退であったため、今年も年齢別ではなく一般に申し込み、学生時代からのパートナーと初日突破を目標にした結果が、最高の結果となりました。

これには日頃からよいテニス環境を与えて頂いています、エバーグリーンテニスフォレスト横浜の加藤代表、週末厳しい練習をしていただいているクラブメンバーの皆様のお陰であります。この場をかりてお礼申し上げます。 (青山 記)

〈一般男子〉青山・松本、池田・河村の各選手

〈一般女子の部優勝〉

魅せるテニス

梅田 真由美・眞仁田 季夢(在住・ダンロップテニススクール根岸)

初出場の本大会、優勝することが出来て嬉しいです。本戦1Rから会場に足を運んで下さった、お客様、スタッフの方々に心より御礼申し上げます。皆様のパワーある応援に何度助けられ気持ちを奮い立たせられたか分かりません。熱意と愛を感じて、ペアの梅田さんと共に戦ってきました。

会場にいた皆様に楽しんでもらえるよう「魅せるテニス」を意識しました。観ていたジュニアやお客様にもっとテニスの楽しさが伝わったら幸いです。梅田さん、スクールメンバー、スタッフの方々、本当にありがとうございました!! (眞仁田 記)

〈一般女子〉梅田・眞仁田、松本・森の各選手

〈男子35歳以上の部優勝〉

万年準優勝からの優勝

荒井 崇彰・原口 崇(在住)

まず始めに、本大会を運営して下さった横浜市テニス協会関係者の皆様に、御礼申し上げます。また、パートナーの荒井さん家族や、妻、娘の応援、支援なくしては優勝することは出来ませんでした。心より感謝申し上げます。

今大会では、昔からの友人である荒井さんとの初のペアを組ましてもらいました。前年優勝、準優勝者との準決勝、決勝は非常にしびれる展開の連続でしたが、荒井さんのブレないプレーに助けられました。本当に心強かったです。ありがとう!! 僕のテニス人生は準優勝が多く、負けずに大会を終えるということは数える程しかありませんでした。でも、今回最高のパートナーの力を借りて“優勝”を勝ち取ることが出来ました。これを糧に今後も“優勝”にこだわり、楽しんでプレーして行きたいと思います。ありがとうございました。 (原口 記)

〈男子35歳以上〉荒井・原口、比護・河西の各選手

〈男子40歳以上の部優勝〉

パートナーと助け合いながら連覇達成

小山 紀三男・鈴木 譲(Tプラザ戸塚)

今年も優勝することができてとても嬉しく思います。試合を重ねるうちに調子を上げることができた事と、自分達のプレーで足りないところをお互いに助け合いながらできた事が勝因だと思います。きみおコーチ、毎試合カバーしてくれてありがとう。来年はもう少しできるように練習しておきます。

今年もプラザの方々には大変多く応援に来ていただきました。心強かったです。ありがとうございました。最後に大会運営に携わって頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。 (鈴木 記)

〈男子40歳以上〉小山・鈴木、日野・稲目の各選手

〈男子45歳以上の部優勝〉

緊張感を楽しむプレーで連覇!!

勝間 豊・長田 祐治(横浜ガーデンTC・ケンウッドTC)

今年も大好きな横浜市民、楽しく戦うことができました。勝間さんと今年も頑張ろう!と横浜市民を目標にして頑張っているので昨年に続き優勝できて本当に嬉しいです。決勝で対戦した徐さん、金本さんとは2年続けての対戦でした。とても競った試合になりギリギリで何とかこちらに軍配といった内容で嬉しさも格別でした。何年やっていても、今回の試合ような試合はドキド

キで思い通りになりません。ただ、この緊張感がたまらないんで、やめられないんだと思っています。また、来年もドキドキを求めて頑張ります!最後になりますが、運営に携わられた大会関係者の皆様、とても気持ち良くプレーさせて頂きました。感謝いたします。　（長田 記）

〈男子45歳以上〉勝間・長田、金本・徐の各選手

〈男子50歳以上の部優勝〉

ドキドキわくわく！

広野 泰一・阿辺 豊（夢見会）

まず始めに本大会を運営して下さった皆様にお礼申し上げます。今回印象的だったコートレフリーの一言です。

大雨の中、「足元の状況で判断します。上は見ないでください。」みんな失笑と共に覚悟を決めました。私のモットーは「ドキドキわくわくの試合をする事」です。どのスポーツでも、リラックスしてプレーすることで余計な力が抜け通常以上の力が発揮されるといわれています。時に試合においては緊張感が先行しがちですが、本番でどれだけプレーを楽しめるかどうかが勝敗を分けると思っています。

劣勢であっても「まだまだ。次がんばりましょう」といつもニコニコ。これが私のプレースタイルです。最後に、日々練習相手をして下さるクラブの皆様これからもよろしくお願いします 。（阿辺 記）

〈男子50歳以上〉阿辺、本間・飯沼の各選手

〈男子55歳以上の部優勝〉

55歳デビュー　初V！

尾形 知章・伊村 裕治（Team EX・在住）

まず始めに、本大会を運営して下さった横浜市テニス協会関係者の皆様に、お礼を申し上げます。そして、Team EXの代表及びメンバー皆様のサポート、いつも応援して下さっている家族や親友、本当に多くの方々の支えのおかげで優勝する事が出来ました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

今大会では、お互い55歳デビューということもあり、伊村さんとは縁あって初めてペアを組むこととなりました。決勝をはじめ、厳しいラウンドばかりでしたが、一戦毎にお互いのプレーを確認し合い、厳しく楽しく声を掛け合い、粘り強くプレーすることができたことと、パートナーの的確なアドバイスと戦術のおかげで、最高の結果を得ることができました。ペアを組んでいただいた伊村さんには大・大・大感謝です！　これからも、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、引き続き精進し、楽しくテニスを続けられたらと思います。ありがとうございました。　（尾形 記）

〈男子55歳以上〉伊村・尾形、垣原・川本の各選手

〈男子60歳以上の部優勝〉

悪条件を克服して頂点に

福田 文夫・浜條 弘行（亀の甲山TC・在住）

始めに、大会を運営してくださった方々、ありがとうございました。今年は、初日が雨で、暗いし、雨が目に入って来てたいへんな思いをしながらの試合でした。何とか勝つ事が出来たのが優勝につながったような気がします。

ペアーの浜條さんにたよりっぱなしのテニスを、来年はもっと練習してもう少しうまくなって大会に出たいと思います。亀の甲山TCの皆様また練習宜しくお願いします。　（福田 記）

〈男子60歳以上〉浜條・福田、小野里・斉藤の各選手

〈男子65歳以上の部優勝〉

テニス歴40年、冥土のみやげ

原口 貴史・荒木 隆夫（東芝横浜T部）

ペアとドロー運に恵まれて、このような大きい大会で優勝できてとても嬉しく思います。周りからは『冥土の土産ができたじゃん』と祝福されました。私は長年、川崎で活動してきましたが、定年後、横浜に転勤してから会社テニス部の荒木さんと合流し、初ペアで初優勝することができました。テニス歴40年、さらに精進して冥土の土産をもっと獲得できるよう頑張ります。

最後になりましたが、大会運営の皆様には大変お世話になりました。横浜市民テニス大会は会場があちこち別れていますが、各々が小じんまりと目が届く運営がなされていたと感じました。そしてどの会場も、特に女性の役員が活躍されていたのが印象的でした。　（原口 記）

〈男子65歳以上〉原口・荒木、鈴木・神崎の各選手

〈男子70歳以上の部優勝〉

念願の横浜市民大会に勝つことができました

深澤 裕・長谷川 隆（ユニークス本牧）

初戦は大雨の中、準決勝は強風、決勝戦は夏日の暑い中、ペアの長谷川さんは足をつりながら根性で頑張り大接戦のタイブレイクを14－12にて勝ちとることが出来ました。

常日頃練習（日曜日は日の出より）の相手してくれている本牧の皆様有り難うございます。来年も老後の目標として、テニスを頑張りたいと思います。

悪天候にもかかわらず運営をして頂きました横浜市テニス協会の皆様ありがとうございます。　（深澤 記）

〈男子70歳以上〉深澤・長谷川、井上・細澤の各選手

〈男子75歳以上の部優勝〉

良きパートナーに恵まれ連覇達成

有本 誠一郎・木下 正利（TGレニックス・在住）

まずは長期間に渡る一般から高齢者までのこの大きな大会の運営に携わった横浜市テニス協会関係者に感謝申し上げます。今年も良きパートナーに恵まれて最高齢の部で優勝することができました。

決勝戦は昨年と全く同じメンバーです。この準優勝チームが強豪を次々破ってくれたことが幸いしました。75歳以上の部に今回も10組が参加し激しい戦いを繰り広げました。今後も健康に気を配りこの大会に参加し続けられればと思っています。最後に一つ希望を言わせて頂ければ、勝者には日本テニス協会公認のポイントを付与していただければ幸です。（有本 記）

〈男子75歳以上〉有本・木下、鈴木・板倉の各選手

〈女子40歳以上の部優勝〉

感謝の気持ちを忘れずに

兵藤 寛美・佐治 令子（在勤（セサミスポーツクラブ大船）・YITC）

まず始めに横浜市テニス協会役員の皆様、今大会運営に携わって下さった皆様に心より御礼申し上げます。

決勝戦は大雨の中の運営大変お世話になりました。佐治さんとは初めてのペア、お互い仕事や子育ての中一緒に練習を重ねました。

苦しい場面では前向きな言葉を掛け合い、信頼出来た事が優勝につながったと思っています。ペアの佐治さん、沢山助けて下さり有難うございました。練習やアドバイスして下さった職場のセサミ大船の皆様、所属するYITCや鎌倉ローンTCの皆様、応援して下さったお友達、有難うございました。「優勝してきてね。」と留守番してくれた娘や家族、有難うございました。感謝の気持ちで一杯です。これからも感謝の気持ちやレベルアップを忘れずに、テニスを楽しみたいと思っています。　（兵藤 記）

〈女子40歳以上兵藤・佐治の各選手

〈女子45歳以上の部優勝〉

5年ぶりの市民大会

小野澤 涼子・伊藤 美恵子（エバーグリーンTF横浜・在住）

今回はペアに声を掛けてもらったのがきっかけで年齢別に初めてトライしました。

大会初日はとても蒸し暑く体力を消耗しましたが、ペアと声を掛け合いながらの勝利でした。最終日は対照的な天候で雨の中でしたが集中力を途切れないように楽しむよう心掛けた結果優勝する事が出来て嬉しかったです。また、参加できればと思います。

最後になりましたが横浜市テニス協会の関係者の皆様、雨の中で審判をして下さった方々、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

〈女子45歳以上〉小野澤・伊藤、二瓶・萩野の各選手

〈女子50歳以上の部優勝〉

楽しかった！

由良 祥江・小川 恭子（在勤・在住）

今年は、学生時代からの親友との挑戦だったので、また一緒にコートに立てる楽しさも格別でした。お互い若いころの腰のキレもなくなり、気持ちは前へ行っても足がいってくれなかったり、あちこち痛かったりしながらも必死にボールを追いかけての結果でした。

私は「ごめーん!」「ありがとう!」の繰り返しでしたが、ペアのありがたさとダブルスの楽しさを実感させてもらった大会となりました。

大会開催運営に携わって下さった関係者の方々には心から感謝申し上げます。（小川 記）

〈女子50歳以上〉由良・小川、小松・宇藤の各選手

〈女子55歳以上の部優勝〉

仲間と楽しくテニスを

柴田 元美・富田 淑子（YSC）

初めに本大会を運営して下さった関係者の皆様にお礼申し上げます。昨年、今年と本大会の55歳女子の部は、他の大会と重なり、欠場の多い大会となってしまいました。決勝戦も不戦勝で戦わずの優勝。ちょっと複雑な気持ちですが、優勝はやっぱり嬉しいです。

パートナーの富田さんは、同じクラブ、同い年なのに、ダブルスのサイドが同じだったせいか、今年になるまで一度も一緒に試合に出たことはありませんでした。ミスしないでラリー上手な富田さんは、とっても組みやすくて、楽しくテニスすることが出来ます。優勝できたのはパートナーや普段から、練習、応援して下さるスポーツマンのメンバーの皆さんのおかげです。これからもみんなで切磋琢磨しながら、テニスを楽しんで行きたいと思います。（柴田 記）

［一般男子］

3R　QF　SF　F

- 長田・佐々木（ウッドテニス・エバーグリーンTF横浜）
- 西尾・市川（テイップネス鴨居ITS・エバーグリーンTF横浜）
- 続・山里（新横浜PHITC）
- 青山・松本（エバーグリーンTF横浜）
- 星野・細川（Naturally Tennis）
- 井田・竹中（在勤（GODAI港北）・在勤（東急あざみ野TG））
- 松本・成田（関東TC・在学（関東学院大学））
- 埴原・大西（在住）
- 柄沢・荻野（コナミスポーツクラブ天王町・TAS）
- 松岡・三岡（Naturally Tennis・東急あざみ野TG）
- 松尾・西谷（GODAI白楽）
- 池田・河村（希望が丘TC・ラック港南台TG）
- 市瀬・市瀬（ラック港南台TG）
- 重田・青木（enter tennis・ウエスタンTC）
- 鈴木・村上（在住）
- 鈴木・内藤（エバーグリーンTF横浜・TAS）

3R：63 76(7)／60 63／64 75／62 62／WO／62 61／63 36 10-8／WO

QF：64 61／63 61／61 64／63 63

SF：WO／64 64

F：26 64 10-7

優勝 青山・松本（エバーグリーンTF横浜）

［男子35歳以上］

SF　F

- 福本・菊池（新横浜PHITC・在勤）
- 荒井・原口（在住）
- 高木・松下（ラック港南台TG）
- 河西・比護（在住・とつかTC）

SF：64 62／75 63

F：76(4) 61

優勝 荒井・原口（在住）

［男子40歳以上］

QF　SF　F

- 小山・鈴木（Tプラザ戸塚）
- 鳥海・仙田（在住）
- 奥村・古平（関東TC・ルネサンス天王寺）
- 竹内・宮本（在住）
- 日野・稲目（エバーグリーンTF横浜）
- 吉田・齋藤（在住）
- 前田・小林（朝練会・在住）
- 濱・小板（朝練会）

QF：62 64／63 63／64 76(4)／62 63

SF：61 64／WO

F：61 60

優勝 小山・鈴木（Tプラザ戸塚）

［男子45歳以上］

QF　SF　F

- 勝間・長田（横浜ガーデンTC・ケンウッドTC）
- 永井・鶴我（下川井TC）
- 尾崎・岡田（在住・在勤）
- 古賀・宮下（Tプラザ戸塚）
- 東樹・木下（ルネサンス天王町）
- 西口・田渕（新横浜PHITC）
- 海保・原島（在住）
- 金本・徐（朝練会）

QF：64 62／75 26 10-8／62 62／61 63

SF：60 61／64 46 10-7

F：75 64

優勝 勝間・長田（横浜ガーデンTC ケンウッドTC）

［男子50歳以上］

QF　SF　F

- 飯沼・本間（Tプラザ戸塚）
- 山下・石田（ワールドTC）
- 戸塚・富田（夢見会・在住）
- 石川・八木下（JX中研）
- 市瀬・丸山（ラック港南台TG・本郷台T同好会）
- 岡部・中村（エバーグリーンTF横浜・在住）
- 大門・柏木（東急あざみ野TG・亀の甲山TC）
- 広野・阿辺（夢見会）

QF：57 62 10-3／64 46 10-7／75 64／64 16 10-4

SF：62 63／76(5) 75

F：16 76(5) 10-4

優勝 広野・阿辺（夢見会）

［男子55歳以上］

QF　SF　F

- 垣原・川本（エバーグリーンTF横浜・ラック港南台TG）
- 舘・安海（在住）
- 福寿・飯岡（夢見会）
- 小沢・藤田（東芝横浜T部）
- Not Played
- 三上・吉田（在住）
- 尾形・伊村（Team EX・在住）
- 落合・笠松（エバーグリーンTF横浜）

QF：81／0 0Ret／WO／85

SF：63 62／60 46 10-6

F：36 75 10-6

優勝 尾形・伊村（Team EX 在住）

［男子60歳以上］

SF　F

- 福田・浜條（亀の甲山TC・在住）
- 友竹・江口（TGレニックス）
- 小野里・斉藤（望が丘TC・和泉テニスクラブ）
- 北川・糸桜（横浜ガーデンTC）

SF：61 63／61 61

F：60 61

優勝 福田・浜條（亀の甲山TC 在住）

［男子65歳以上］

SF　F

- 原口・荒木（東芝横浜T部）
- 小野・松原（在住）
- 鈴木・神崎（東芝横浜T部）
- 佐野・近藤（下川井TC・瀬谷グリーンTC）

SF：61 75／75 62

F：64 63

優勝 原口・荒木（東芝横浜T部）

［男子70歳以上］

SF　F

- 井上・細澤（とつかTC・YSC）
- 斎藤・小川路（在住）
- 深澤・長谷川（ユニークス本牧）
- 大鹿・早坂（TGレニックス）

SF：76(4) 46 10-6／63 64

F：63 57 14-12

優勝 深澤・長谷川（ユニークス本牧）

［男子75歳以上］

SF　F

- 有本・木下（TGレニックス・在住）
- 小島・駒田（TGレニックス）
- 中井・久保田（YSC）
- 鈴木・板倉（TGレニックス・ユニークス本牧）

SF：57 64 10-5／60 26 10-6

F：60 64

優勝 有本・木下（TGレニックス 在住）

第13回 都市交歓スポーツ試合

対戦結果

	［横浜市］		［川口市］	［横浜市］		［春日部市］
・都市対抗種目	5	－	2	6	－	1
・ジュニア種目	16	－	4	なし		
・その他種目	3	－	3	4	－	2
合計	24	－	9	10	－	3

本対抗戦は、川口市テニス協会から招待を受けて、毎年実施しておりますが、今年は、以下の日程、場所で行われました。

◎日程:平成29年3月20日（月・祝）◎会場:埼玉県川口市青木町総合運動公園庭球場（12面）

今回は、これまでの、川口市、横浜市の2都市に春日部市を加えて3都市間で実施されました。対抗戦の実施内容に関しては、全日本都市対抗種目とあわせて、その他年齢別の対抗戦も行われております。

本大会は、川口市のレベル向上を目的として、川口市より横浜市へ対抗戦の要請を請けて実施されているものですが、選抜されたジュニア選手（中学生、高校生）の対抗戦も実施されています。ここ数年の戦績は、川口市に負け越しを喫しておりましたが、今回は、ようやく一矢を報いることができました。対戦成績を左記に示します。毎年、川口市テニス協会のきめ細かな準備と丁寧なご対応を頂いており、関係者の皆様に感謝申し上げます。（相良）

〈女子55歳以上〉柴田・富田、西間木の各選手

〈女子60歳以上の部優勝〉

ラリーの連続、我慢の試合展開

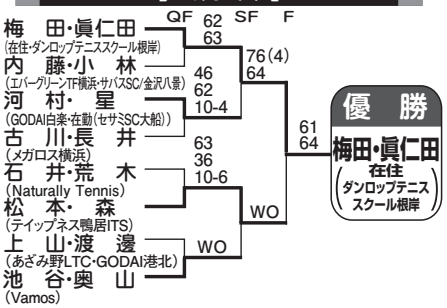
小林 泰子・十河 しのぶ（YSC）

まず最初に横浜市テニス協会役員の皆さま、大会運営役員の皆さまに心より感謝申し上げます。久しぶりに市民大会にエントリーさせて頂き、優勝を目指して一つ一つ頑張る事が出来て大変嬉しく思っております。

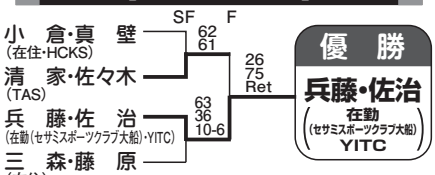
年齢別のテニスはミスしたらお終い。どの試合も厳しいラリーの連続で、ひたすら我慢のテニスでした。これからも、怪我せず楽しくテニスを続けていきたいと思います。応援してくださったクラブの練習仲間の皆さん、今後とも宜しくお願い致します。　（小林 記）

〈女子60歳以上〉小林・十河、大串・宮原の各選手

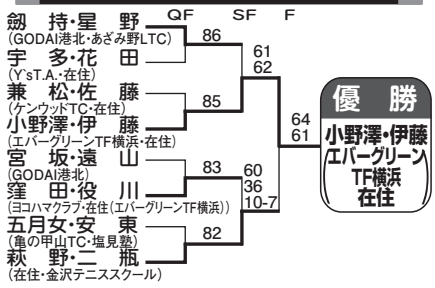
［一般女子］



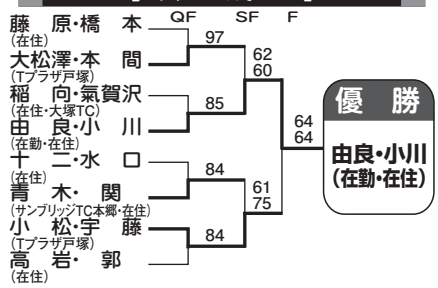
［女子40歳以上］



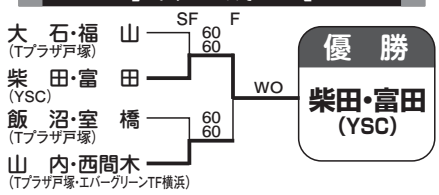
［女子45歳以上］



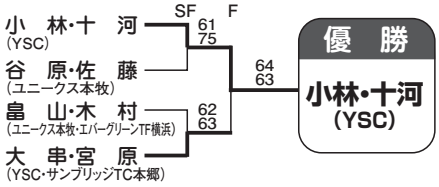
［女子50歳以上］

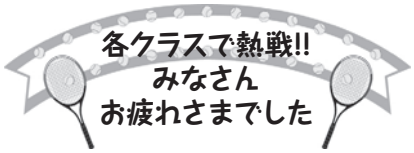


［女子55歳以上］



［女子60歳以上］

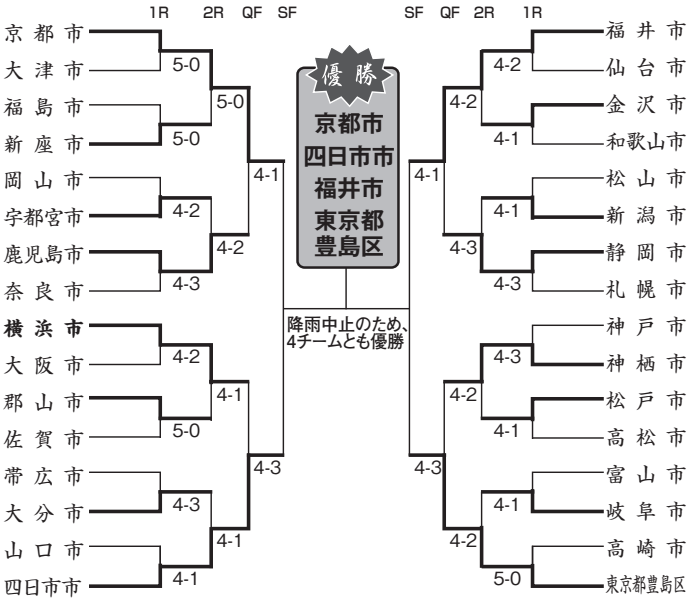




第41回 全日本都市対抗テニス大会（福井大会）

第41回全日本都市対抗テニス大会神奈川県予選が、4月8日㈯、9日㈰、23㈰の3日間、藤沢辻堂南部公園、八部長公園テニスコート等で開催され、決勝戦では川崎市を破り横浜市チームが昨年に続き神奈川県代表として、7月21日から23日までの3日間、福井運動公園テニス場に於いて全国大会に臨んだ。

試合結果は、初日の初戦では、大阪市と対戦したが、接戦の末、4−2で勝利した。二日目の2回戦は、郡山市に4−1で勝利したが、続く3回戦は、四日市市と対戦で惜しくも3−4で敗退しベスト8に止まった。



大会全体の結果は、最終日が降雨中止となりベスト4に残った4チーム（京都、東京、四日市、福井）が優勝という結果となった。横浜市チームは平成23年以来、全国優勝からしばらく遠ざかっているため、次年度は優勝を目指して頑張りたい。　（岡崎監督談）

［出場選手等］

- ●監　督／岡崎 崇徳（リコー）
- ●マネージャー／石崎 勇太（GODAI）
- ●一般男子／喜多 文明（リコー）、只木 伸彰（リコー）、喜多 元明（リコー）
- ●一般女子／水沼 茉子（リコー）、入江 真子（リコー）、本郷 未生（明治安田生命）
- ●ベテラン女子／鈴木 裕美子（横浜ガーデンTC）、窪田 美紀（ヨコハマクラブ）
- ●ベテラン男子1／中嶋 俊一（横浜グリーンTC）、玉那覇 太（あざみ野ローンTC）
- ●ベテラン男子2／清板 伸一郎（ヨコハマクラブ）、橋爪 宏幸（神宮外苑TC）

第54回 横浜市団体テニストーナメント

優勝チームの皆様おめでとうございます

［一 般 男 子］ とつかTC（ARASHI）/2連覇　［一 般 女 子］ TAS/2連覇
［シニア男子］ 亀の甲山TC（A）/4連覇　［シニア女子］ YSC（ひまわり）

――第54回横浜市団体テニストーナメント大会を終えて――

7月8日から7月30日にかけて開催されました団体テニストーナメントは連日の猛暑の中、どの試合もハイレベルな対戦が繰り広げられ団体戦ならではの醍醐味を十分に堪能して頂けたかと思います。エントリー数は全種目113チーム、前回より27チーム（一般:24、シニア:3）減少となりました。

この団体戦に出場する為に加盟された団体の皆様、優勝を目指す団体、選手の皆様と共に次回も盛り上げていきたいと思っております。ルールとマナーとモラルを遵守し、横浜のテニス界の更なる発展を希望してますので、今後とも宜しくお願い致します。

最後に、本大会運営に携わって頂いた役員、運営委員の皆様のご苦労に対し心から感謝致して大会後記とさせて頂きます。

（横浜市団体トーナメント委員長　関　宏一）

一般男子の部優勝：とつかTC（ARASHI）

悲願の連覇達成！

まず初めに、今大会の開催にあたり運営に携わっていただいた横浜市テニス協会及び関係者の方々に厚く御礼を申し上げます。また、初日から応援に駆けつけていただいたクラブ関係者の皆様にも感謝致します。

初優勝から15年、優勝回数は今回を含めて7回目になりますが、初の連覇達成をチーム一同、大変嬉しく思っております。

私たちのチームも気が付けば平均年齢40歳を超え、以前に比べると戦力、体力的には落ちてきているかもしれませんが、団体戦で優勝したいという熱い気持ちと団結力を保ち続けていることがこのような結果につながったのではないかと思います。また来年も同じメンバーで3連覇目指して熱い夏を過ごしましょう! ありがとうございました。（谷）

一般女子の部優勝：TAS

まさかまさかの優勝

今大会運営して下さった皆様、又、運営に携わって下さった皆様、今年もすばらしい大会をありがとうございました。チームの誰もが思わない、まさかまさかの優勝でした。決勝の相手は強豪を破った実力派揃いのメンバーで厳しい対戦でしたが、高いチーム力とすばらしいファイトで勝利を引き寄せる事ができました。

TASは全員が明るく、物怖じしないメンバー。このメンバーで今年も闘えた事を嬉しく思います。来年もまた、皆で楽しく頑張りたいと思いますので今後もTASを宜しくお願い致します。（小林）

シニア男子の部優勝：亀の甲山TC（A）

4年連続優勝

はじめに、大会関係者、役員の皆様、ありがとうございました。今回は、初日も、二日目も、前日、夜12時まで、5人しかいなくて、人集めに、苦労しました。二日目は、朝まで雨が降っていて他の試合が中止になり、朝8時に、やっと6人揃いました。

決勝では1-1から3試合目はタイブレークになる熱戦で、どうにか優勝できました。これで、4連覇出来ました。来年もがんばります。ありがとうございました。（福田）

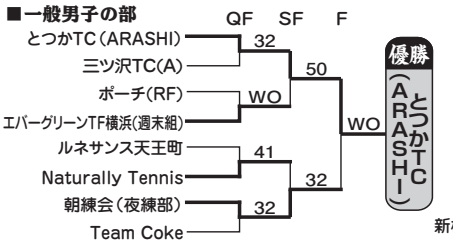
シニア女子の部優勝：YSC（ひまわり）

今年も可愛いひまわりがコートに咲き乱れました！

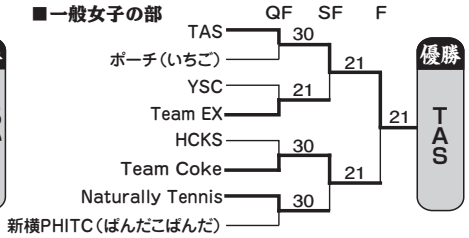
昨年は、惜しくも準優勝という結果でしたが、「V奪還」を合言葉に、技術も気力もパワーアップして優勝することが出来ました。

一進一退の接戦あり、土壇場からの大逆転ありと、その度に選手一人ひとりの底力と、どこにも負けないチーム力との一致団結を感じました。ひまわり娘、最高!感動をありがとう!チーム結成以来、三度目の優勝となりましたが、まだ連覇がありません。来年は、念願の連覇を目指したいと思います。最後になりましたが、今大会を開催するにあたって横浜市テニス協会役員の皆様を始め、運営に携わって頂いた全ての方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

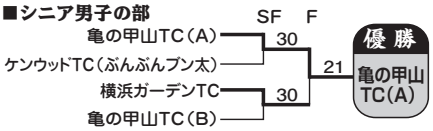
■一般男子の部



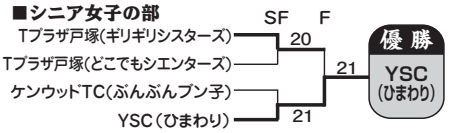
■一般女子の部



■シニア男子の部



■シニア女子の部



［一般男子の部準優勝］朝練会（夜練部）

［一般女子の部準優勝］Team Coke

［シニア男子の部準優勝］横浜ガーデンTC

［シニア女子の部準優勝］Tプラザ戸塚（ギリギリシスターズ）

◇第10回 横浜親子ダブルストーナメント◇

――夏休みの思い出作り――

8月6(日)、8月13日)の2日間で、小学生3年生以下から高校生以下までの10種目(155組参加)を、初日は山手公園(小学生以下)と本牧市民公園(中学生・高校生)、決勝大会は清水ヶ丘公園で、天候にも恵まれ全種目を予定通り終了することが出来ました。

名物抽選会の、目玉は協賛会社提供のペアテニス宿泊券(4組)やテニスグッズですが、10回目の今年は空クジ無しで、全ペアに飲料とグッズをお渡しました。午前と午後のテニスレッスンにも、たくさんの方が参加して気持ちの良い汗を流しました。試合のコート上からは、親子の元気なプレイと声が、コートサイドからは家族の声援がひびいて、真夏の暑さに負けない試合が見られました。

横浜開港150周年を機にスタートしたこの大会が10年続けることが出来たのは、恒例行事として家族ぐるみで毎年参加している親子や、夏休みの思い出作りにと奮って参加しているお父さんお母さんが、たくさんいてくれるおかげです。今後も、参加して楽しい大会として、そしてマナーと安全も今まで以上に重視して、継続していきたいと思います。夏の思い出に参加しようかなと考えられた方、ぜひ来年は参加していただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。　(親子ダブルス委員長　大村)

小学3年生以下父親の部 優勝　念願の優勝
高村 剛・颯(在勤)

ぼくは今年で2回目の親子ダブルスでした。1回目は1年生の時。2回戦で負けてしまったのでリベンジに燃えて今年の親子ダブルスに挑みました。そして念願の優勝ができて、ぼくはとてもうれしかったです。　(颯)

大会運営をしてくださいました横浜市テニス協会とスタッフの皆様、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

おかげさまで今回の大会を通じて一昨年は何も出来ずに悔し泣きしていた息子の成長を感じることができました 。　(剛)

[小学3年生以下父親] 高村親子、山本親子の各選手

小学3年生以下母親の部 優勝　猛暑の中も元気にプレー
奥山 律子・輝咲(Vamos)

この度は横浜親子ダブルスに出場させていただき、初出場で優勝することができました。娘はテニスを始めてまだ日が浅いですがテニスが大好きで、この大会をとても楽しみにしていました。当日は35度を越える猛暑でしたが、一戦一戦真剣にかつ楽しくプレーさせていただく事ができました。試合も始めてだったのでマナーの面で対戦相手の方に失礼があったかもしれません。

これから少しずつ勉強していき、また試合に出たいと言っております。最後に大会役員、関係者の皆様、暑い中ありがとうございました。

[小学3年生以下母親] 奥山親子、赤﨑親子の各選手

小学6年生以下父親の部 優勝　良い思い出になった夏休み
佐藤 淳・遙太(在住)

まずは大変暑い中、大会運営に携わった横浜市テニス協会の皆さん、応援して頂いた方々にお礼申し上げます。

本大会には2回目の参加で、昨年は残念ながら初戦負け。今年は初戦突破を目標に臨みました。今年の作戦は「息子が攻めて父親が守る」でした。親が全面に出るのではなく、子供が考えてプレーし失敗して考えること。親は口出ししないことを決心していましたが…現実は甘くなく試合中に何度も喧嘩になりそうになりました。しかしながら双方耐え凌ぎ最後まで作戦を貫徹し、優勝と言う素晴らしい結果となりました。一年前と比べて息子のテニスの技術、精神面が強くなったことが分かり、またテニス以外での成長も感じられた大会となりとても幸せです。

来年以降も上のカテゴリーでの参加を目指し、結果もそうですがそれ以外で得られる何かを掴めればと思います。 改めまして大会関係者の皆さんありがとうございました。

[小学6年生以下父親] 佐藤親子、松岡親子の各選手

小学6年生以下母親の部 優勝　多くの方に支えられて
原田 彩子・朗(YITC)

初めて親子ダブルスに挑戦し、優勝することが出来てとても嬉しいです。また、この大会に出場したいです。　(朗)

初めに、本大会に携わって頂いた関係者の皆様、強化Jr.等ジュニア育成に尽力を尽くして下さっているテニス協会の皆様に、御礼を申し上げます。

「親子、出たい!」息子の一言で、小学生最後の夏の想い出に出場を決めました。いつもはフェンスの外から眺めている光景。今日は二人でコートに立つのか…。本大会のお陰で、初めて息子と共に一つの目標に向かって一緒に取り組むという経験をさせて頂きました。そして、忙しい中練習をして頂いた友人家族、会場で笑顔を交わしたテニス仲間、前日の練習に付き合ってくれた家族、本当にありがとう!

[小学6年生以下母親] 原田親子、永井親子の各選手

最後に、いつも子供たちを暖かくサポートして下さっているYITCのスタッフの皆様、メンバーの皆様に心から感謝を申し上げます。　(彩子)

中学生以下父親の部 優勝　六度目の正直、初優勝
剱物 健太郎・蒼太(本郷台テニス同好会・ラック港南台TG)

はじめに、運営の横浜市テニス協会の皆様にお礼申し上げます。

私達は第4回から、6度親子大会に出場してきました。初出場は小3の時。サーブが入るようになった蒼太と初出場できた日の感動を覚えています。第6回では娘の若菜と3位表彰も良い思い出です。ここ数年は、親子大会が夏のどんな旅行よりも濃厚な思い出になっています。

第9回では地元の伯耆さんと戦い、準優勝も良い思い出です。しかし悔しがる蒼太をみて、私が決勝進出で満足したことが敗因と反省しました。そこで今大会では「優勝するのは自分たちだ」と言い聞かせました。実際、準決勝では1－4とリードされた場面で「最後に勝つのは俺達だ」と声を掛け合い戦い、接戦を逆転勝ちすることができました。

最後に、親子ともに日頃からレッスンしてくださるラック港南台の市瀬社長、コーチ陣に感謝いたします。また家族を暖かく応援してくださる、本郷台テニス同好会の皆様へお礼を申し上げます。　(健太郎)

[中学生以下父親] 剱物親子、阿部親子の各選手

中学生以下母親の部 優勝　娘の成長をより感じる
宮内 由佳・汐夏(在住・レニックスTS)

はじめに、猛暑の中での大会運営をされた、横浜市テニス協会の皆様、関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

子供が産まれる以前より、自分の子とテニスをしたい、一緒に試合に出てみたい、と思っていました。なのでこの大会に出場出来たことだけでも感慨深く思っています。今回は、娘が中学生となり、一段とジュニア大会出場などで忙しく、この大会にエントリーするのも悩みました。が、試合を終えてみて、やはりとても楽しく、思い出深い時間でありました。試合中は終始娘にリードして

もらい、母としての威厳など全くありませんでしたが、今年も優勝することが出来、大変嬉しく思っています。

一緒にプレーしてみて、娘の成長をより感じることも出来ました。今後も娘の応援に、更に熱が入りそうです。この様な機会をいただき、大変感謝しています。ありがとうございました。

[中学生以下母親] 宮内親子、金本親子の各選手

中学生以下 混合の部 優勝 5回目の出場で初優勝！

森野 浩一郎・晴海（橘TA）

はじめに、大会関係者の皆様には、素晴らしい環境と心地よい雰囲気を作って頂き、感謝致します。小学校5年生から出場し、昨年は決勝で敗れて悔しい思いをしましたが、念願の初優勝ができました。

決勝の相手は、いつも練習を共にしている同じスクールの瀬戸親子ペアで、逆転に次ぐ逆転の中、何とかタイブレークで競り勝つことができ、とても嬉しい気持ちです。

最後に、あまり上手でない私を根気強く教えてくれた、橘テニスアカデミーの谷澤コーチ、佐藤コーチ、藤縄コーチ、そして福島コーチ、横浜市テニス協会の青山コーチ、古川先生には深く感謝致します。ジュニアの大会でより良い戦績を残せるよう一層頑張ります。ありがとうございました。（晴海）

[中学生以下混合] 森野親子、瀬戸親子の各選手

高校生以下 男子の部 優勝 達成感の大きい初優勝

堀池 正之・哲平（在住）

はじめに、大会を運営頂いているスタッフの皆様、ありがとうございます。

猛暑へ配慮頂いたり、入賞者のみではなく参加者全員にチャンスがある賞品抽選も毎回楽しみにしています。

僕は、横浜市親子ダブルスの第一回（当時は小学一年生）から参加しつづけ、今回10回目の出場での初優勝でした。小学校6年間はソフトボールに打ち込んでいましたが、テニスを趣味としている両親と、本大会に出場するのが毎年の恒例となっています。

中学からはテニスへ転向し、戦績も残せる様になってきたものの、どうしてもこの大会では結果を残す事ができませんでした。

今年からは高校の部、本大会に参加できるのも後3回のみであり、焦りもあった為、今回優勝でき、とても嬉しいとともに、とても安心しました。いつも練習につきあってくれる父と一緒に試合に出て結果を出せた事は、他の大会で優勝するのとは違う達成感を味わうことができたとともに、とても感謝しています。

[高校生以下父親] 堀池親子、下田親子の各選手

高校生以下 女子の部 優勝 2回目の優勝

秋吉 真須美・美夜（在住・ラック港南台TG）

去年は中学生の部、今年は高校生の部と、優勝することができてすごく嬉しいです。

決勝では思うようにいかなくて、なかなかゲームを取れませんでしたが、1回1回母と次のポイントを話し合い、また、いつも通りにプレーすることが出来て良かったです。

最後に、大会関係者の皆様、いつも一緒に練習してくださる皆様、ありがとうございました。

[高校生以下女子] 秋吉親子、田中親子の各選手

高校生以下 混合の部 優勝 夏の日の楽しい思い出

高橋 秀企・葉生（在住）

テニス部の部活動を引退して、久しぶりのテニスでした。少し緊張しましたが、楽しくプレイできました。

夏の炎天下の中、長いラリーが続くポイントもあり白熱しました。父の体力が心配？ でしたが、ミスが少ない父とハードヒットの私のコンビネーションもよく、見事に優勝できました。試合前の準備の大切さと1本の集中力を学びました。家族も応援に来てくれてうれしかったです。

高校最後の夏にとても良い思い出になりました。テニスは楽しいので、大学に入っても続けようと思います。大会関係者の皆さま、ありがとうございました！（葉生）

[高校生以下混合] 高橋親子、吉田親子の各選手

●小学3年以下父親●

- 山本康一・佑人（在住・ラック港南台TG）
- 松本豪介・欧介（青葉台ローンTS）
- 高村剛・颯（在勤）
- 松本靖之・諭宇（在住）

SF 62 / 62　F 62

★優　勝★ 高村剛・颯（在勤）

●小学3年以下母親●

Aグループ	赤坂ペア	近藤ペア	鈴木ペア	順位
赤崎頼子・世侍（青葉台ローンTC・あざみ野ローンTT）		61 ○	61 ○	1
近藤綾子・あき（在住）	16 ×		46 ×	3
鈴木幸恵・もも（在住・東急あざみ野TS）	16 ×	64 ○		2

Bグループ	奥山ペア	久保田ペア	佐藤ペア	順位
奥山律子・輝咲（Vamos）		62 ○	63 ○	1
久保田彩・絆友（在住）	26 ×		64 ○	2
佐藤真理・真人（在住・瀬谷グリーンTC）	36 ×	46 ×		3

Aグループ1位 赤崎頼子・世侍　Bグループ1位 奥山律子・輝咲

76(3)

優勝 奥山律子・輝咲（Vamos）

●小学6年以下父親●

- 松岡聖・輝（在住）
- 金本朗彦・怜大（GODAi港北・あざみ野ローンTT）
- 佐藤淳・遙太（在住）
- 赤崎智彦・太一（青葉台ローンTC・あざみ野ローンTT）

SF 62 / 63　F 61

★優　勝★ 佐藤淳・遙太（在住）

●小学6年以下母親●

- 長井久仁子・佑真（加盟団体）
- 原田彩子・朗（YITC）
- 永井治代・花怜（在住・リビエラ逗子マリーナTS）
- 坂野幸子・生奈（在住・レニックスTS）

SF 62 / 64　F 62

★優　勝★ 原田彩子・朗（YITC）

●中学生以下男子●

- 剱物健太郎・蒼太（本郷台テニス同好会・ラック港南台TG）
- 神谷邦宏・優太（在住・浅野中学校）
- 阿部貴志・光流（GODAi港北・あざみ野ローンTT）
- Not Played

SF 75 / WO　F 63

★優　勝★ 剱物健太郎・蒼太（本郷台テニス同好会 ラック港南台TG）

●中学生以下女子●

- 宮内由佳・汐夏（在住・レニックスTS）
- 剱物郁子・若菜（本郷台テニス同好会・ラック港南台TG）
- 金本純子・夢菜（GODAi港北）
- 大嶺祐子・真帆（在住）

SF 61 / 60　F 63

★優　勝★ 宮内由佳・汐夏（在住・レニックスTS）

●中学生以下混合●

- 坂野仁清・文南（在住・富岡中学校）
- 瀬戸大・凪（在住・橘TA）
- 佐藤陽子・大喜（在住・橘TA）
- 森野浩一郎・晴海（橘TA）

SF 62 / 63　F 76(3)

★優　勝★ 森野浩一郎・晴海（橘TA）

●高校生以下男子●

- 松本康樹・大貴（エバーグリーンTF横浜・慶応湘南藤沢高等部）
- 下田靖博・智之（在住）
- 堀池正之・哲平（在住）
- 神田喜一郎・喜慧（Team Coke・在住）

SF WO / WO　F 75

★優　勝★ 堀池正之・哲平（在住）

●高校生以下女子●

- 滝沢千夏・有紗（在住）
- 秋吉真須美・美夜（在住・ラック港南台TG）
- 田中史子・理緒（在住）
- 杉浦美央子・萌楓（ラック港南台TG）

SF 60 / 64　F 63

★優　勝★ 秋吉真須美・美夜（在住・ラック港南台TG）

●高校生以下混合●

- 高橋秀企・葉生（在住）
- 吉田明弘・奈央（在住）
- 中島邦晴・優衣（在住・フェリス女学院高校）
- 吉田真美・雄太（在住）

SF 60 / 61　F 60

★優　勝★ 高橋秀企・葉生（在住）

第23回 ジュニア競技力向上事業 テニス合同・強化練習会

ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会は、(公財)横浜市体育協会殿主催で横浜市テニス協会が主管事業として夏休み期間中に実施しています。今年度は、7月22日から8月11日迄の間で合計6日間(午前・午後各2時間半)実施しました。

小学生から高校生まで、多くの申し込みを頂き、計78名(延べ約400名)の選手に参加頂きました。4年前から特別強化クラスを設けましたが、例年安定的に30名程度参加頂いています。コーチには、リコー実業団チームから現役選手やテニスクラブコーチ・公認指導員等の多くの方に協力を頂来ました。また、今年も元デ杯選手の田辺正特別コーチにも参加指導頂きました。練習に先立ち、各選手には、目標を一つ持って頑張るようにお願いしましたが、頂いた感想文にもそれぞれ達成感を述べて頂いています。

一般クラスの選手もいつもと違った練習に成果があったものと思います。この合同練習会をきっかけに、マナー面も含め、更に大きく成長し、クラブ活動・大会等で活躍されることを期待します。参加頂いた選手の皆さんお疲れ様でした。また、暑い中指導に当たって頂きましたコートの皆さんありがとうございました。

[参加の感想]

私は、サービスとボレーが苦手だったのですが、今回教えてくださったコーチ達のおかげで、試合でかなり入るようになりました。質問等にもわかりやすく答えてくれたり、出来ているところ、出来ていないところを細かく教えて頂き、本当に楽しかったです。

ネットの高さやボールの重さを聞かれて、初めて自分はテニスの事について本当に知らないんだと感じました。はっきり言って、そんな事知らなくてもと、最初は思っていました。しかし、コーチから、「プレイヤーとしての資格」と言われ、確かにそうだなと思って、全てを調べたのが、強く印象に残っています。

テニスというのは、プレイするだけでなく知ることと考えることも大事なんだということを学びました。私の目標は、今回学んだことを生かして、試合で勝ち進んで行く事なので、これからもしっかり努力していきたいと思います。この度は、ありがとうございました。　(高校生参加選手)

午前の部初日参加者

午後の部初日参加者

第11回 春のシニアテニス教室

春のシニアテニス教室(第11回)4月4日(火)から6月6日(火)富岡西公園、長浜公園コートの2箇所にて実施いたしました。

56名の受講者でのスタートとなりました。毎回申し込み後、辞退者が出ます。今回も3名の方がキャンセルされました。

申し込みから開始までの期間で体調を崩し、キャンセル発生もシニアの教室の宿命かもしれません。教室スタート後、2名残念ながら怪我でのリタイヤとなりました。1名は手を突いての骨折、1名はアキレス腱の断裂と今までにない怪我で、連続して発生したのでコーチの方もレッスン終了すると口々にほっとしたといわれてました。この教室は健康面の維持も目的ですので初級中級者、特に初参加の方の体力面、運動能力面に注意が必要と感じました。

今回場所が2箇所なので最終日の懇親会は中止いたしましたが最終日前の富岡西コートで生徒さんから残念ですとのお言葉いただきました初参加時に懇親会でテニスの仲間の紹介していただいたことで今テニス続けられたとのことで、何らかの形で参加者のテニスの仲間作りの橋渡しを企画したいと思います。

今回スタート前には鈴木聡子さん淀川勝男さんの参加で運営サイドは運営に専念できるかと思っていましたがそうも行かず、道下さんの協力をいただきました。またボールの運搬には戸佐コーチ、渡辺コーチの協力をいただき大変助かりました。この教室が無事終了出来ましたのもコーチの皆様のおかげと感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。　(飛田)

ナイス ショット!

参加者の城島 敬さん
(金沢区在住)

第9回から3回連続で、春季市民シニアテニス教室に参加させて頂きました。参加の動機は、「自己流からの脱皮」。テニス暦は、近隣の仲間と、中断はあるものの20年近くになりますが、参加前は、ただ力まかせにボールを打つだけのテニスで、テニス肘に悩んでいた時もありました。そんな折に、地区センターで「シニアテニス教室」のチラシを見つけて応募しました。

テニス教室では戸佐、鈴木両コーチの、参加者各々の癖や体形に合わせての分かりやすく、適切なアドバイスで、皆さん、毎回、週を追うごとに上達されていました。私も、力まず、素直な気持ちで参加するうちに、苦手だったサーブやバックハンドが少し上達した気がして、テニスが一段と楽しくなってきました。私同様、参加されている皆さんも、毎週火曜日の教室が楽しみで、天気が気になるとお話しされていました。

参加して以降、週1～2回のテニスは、自分のライフサイクルの一部となり、仲間からナイスショット、ナイスボレーの声が掛かると、ニンマリ!!。これも、シニアテニス教室に参加させてもらった成果。体が動く限り、テニスは今後も続けるつもりです。ありがとうございました。

第14回 都市間交流スポーツ大会（神戸大会）

大会主旨として、都市対抗形式での競技大会を通じて各都市スポーツ団体間及び市民の交流促進を図り、競技力の向上と青少年の健全な育成、また生涯スポーツの普及に寄与することを目的とされています。今年で、開催14回目を迎え、7月8日、9日の二日間、神戸市「しあわせの村」テニスコートで実施されました。心配された天候も、大会終了まで何とかもってくれました。

会場は、神戸市内から少し山あいに入った自然豊かな、総合運動施設（温泉付き宿泊施設完備）で、オムニコート16面を備えており、素晴らしい環境でした。

試合は、5チーム総当たり戦で、一般男子S1・D1、一般女子S1・D1、ベテラン男子D1、ベテラン女子D1、ベテラン男子D2の7ポイントで行われました。組合せ抽選で、初日1試合、二日目3試合と厳しい条件となりましたが、蒸し暑い中でも、選手の皆さんは、全員頑張って頂きました。結果は、5位に甘んじましたが、各試合、接戦の良い試合が続きました。次回は、京都市で開催されますが、上位を目指して、参加選手には、頑張って頂きたいと思います。　（相良）

参加選手・監督マネージャー

［監　　督］岡崎 崇徳　［マネージャー］石崎 勇太
［一般男子シングルス］小山 裕史　［一般男子ダブルス］池田 孝郎、河村 一成
［一般女子シングルス］本郷 未生　［一般女子ダブルス］梅田 真由美、眞仁田 季夢
［ベテラン男子ダブルス１］勝間 豊、玉那覇 太
［ベテラン男子ダブルス２］尾形 知章、伊村 裕治
［ベテラン女子ダブルス］小野澤 涼子、伊藤 美恵子
順位／1位 神戸市、2位 大阪市、3位 名古屋市、4位 京都市、5位 横浜市
戦績（1勝3敗）／横浜市2－5神戸市、横浜市5－2大阪市
横浜市2－5京都市、横浜市2－5名古屋市

第64回 横浜市実業団対抗テニス

男子優勝：横浜銀行（初）、女子優勝：三菱化学横総研A（7度目）

3月から7月にかけての第64回横浜市実業団対抗テニス1部リーグにおいて、男子の横浜銀行が初、女子の三菱化学横総研Aが7度目の優勝を果たしました。

6月に行われた第82回神奈川県実業団対抗テニス大会（B大会）で、男子の日立ソリューションズBが優勝（県A級7部昇格）、資生堂研究所が準優勝（県A級9部昇格）、3位に、ブリヂストンとAGC旭硝子中研Cが入り、ベスト4以上は横浜代表チーム独占という快挙でした。

A大会の第58回（女子第20回）神奈川県実業団対抗テニスリーグ戦においても、男子:AGC旭硝子中研が1位、横浜市役所が3位、女子:ウインザーAが20連覇、ウインザーBが2位、横浜市役所が3位の好結果でした。第65回横浜市実業団対抗テニスは8月末から12月まで74チームが上を目指す闘いをスタートしています。

実業団県B大会男子優勝：日立ソリューションズB

実業団県B大会男子準優勝：資生堂研究所

【第64回横浜市実業団対抗テニス大会の成績】
（各部の優勝チームのみ記載）
●H29年3月～7月　参加74チーム（男64＋女10）
●H29年度運営事務局：図研

《男子優勝(部別)》	3Ｂ：住友電工B
1部：横浜銀行	4Ａ：東芝生産技術センター
2Ａ：資生堂研究所Ａ	4Ｂ：大東建託横浜
2Ｂ：千代田化工	5Ａ－Ｃ：日揮Ａ
3Ａ：日清横浜	5Ｄ－Ｇ：横浜市役所Ｂ

《女子優勝(部別)》	2部：日立戸塚
1部：三菱化学横総研Ａ	

★大会の結果については協会ホームページに詳しく掲示されています。

クラブ紹介 《第64回》 テニスカレッジやよい台

相鉄いずみ野線弥生台駅北口より徒歩10分の緑と遊歩道が続く環境の中に当クラブが有り、子どもから大人の方まで幅広くご利用頂いております。

当クラブはモットーである「楽しい生涯スポーツ」を目指し、ジュニアにおいては挨拶、礼儀などから導入しテニスを通して色々な事を学んでいきます。レッスンは1クラス8人制とし、コーチとレッスン生の距離が近く、信頼感が生まれ「家庭的」な雰囲気の為、継続率がとても高いものとなっております。

ジュニアクラスは、一般クラス,中高クラス、強化クラスに分かれており、コーチもジュニア指導には、実績のある人材を揃えて時には厳しく指導しております。体力作りはクラブの横にある安全な遊歩道をマラソンに利用させて頂き、のびのびと行うことが出来ております。

また、BBQや合宿、大会の開催など色々なイベントを企画運営しており、レッスン生同士の交友の場を数多く作ること事をスタッフ一同心掛けております。是非一度、お出かけください。

横浜市泉区新橋町701-1　TEL045-814-5620　http://www.t-yayoidai.com/

Tennis college YAYOIDAI

好評連載　テニスプレーヤーのためのスポーツ医学　64

熱中症を防ぐ８か条

“暑さに負けたなんて言わないように”

日本体育協会公認スポーツドクター　医学博士　及能茂道（きゅうのうしげみち）

地球の温暖化により世界中の気温は年々上昇し、最近の異常気象をみると日本も温帯から亜熱帯地方になったようです。真夏に開催される東京オリンピックを控えて、国は来日外国人に日本の夏の異常な蒸し暑さを啓蒙しています。

熱中症といえば以前は暑熱の作業現場での過酷な労働や真夏の激しいスポーツなど労作性熱中症が主でしたが、最近は日常生活中の屋内で発生する非労作性熱中症が増えています。梅雨明けの7月中旬から8月上旬が発生のピークで、天気予報の熱中症予防情報もこのころは危険マークばかりです。中高年プレーヤーは生活習慣病に関わりが多いので「日射病だから休めば治る」と安易に判断するのは危険です。

無知と無理によっておこる「熱中症を防ぐ8か条」を紹介します。

1 熱中症についてよく理解しておく

熱中症の最初の症状はたちくらみが多く、”熱失神”と呼ばれ、脳の血流が瞬間的に不十分になってめまいや失神がおこります。また大量の発汗による塩分の欠乏によって、こむら返りのような筋肉の痙攣がおこり、”熱痙攣”と呼ばれます。

さらに頭痛、気分の不快、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感などの”熱疲労“の症状が出現します。さらに体温が上昇して、呼びかけに応えられなくなり意識障害が進み”熱射病”になると生命の危険が生じます。かっては「熱失神」「熱痙攣」「熱疲労」「熱射病」などの症状で重症度を診断していましたが、定型の症状が現れないこともありますので、日本救急医学会ではⅠ～Ⅲ度の重症度分類を提唱しています。

めまいや立ちくらみ、生あくび、大量の発汗、筋肉痛やこむら返りの症状を第Ⅰ度、頭痛や吐き気、倦怠感、虚脱感、集中力や判断力の低下を第Ⅱ度、さらに意識障害が進んだら第Ⅲ度とし，第Ⅰ度は応急処置と見守り，第Ⅱ度は医療機関へ、第Ⅲ度は救急車で入院治療と、現場でトリアージするようにします。

（＊トリアージとは熱中症など同時に大勢患者が発生した時に、重症度によって治療の順番を決めることを言います。）

2 高温、多湿、風のない時は注意が必要

日本の各地は夏でなくても気温30度、湿度70%を超えることが多く、真夏に限らず熱中症発生の危険が高く、真夏は原則プレー中止の気候です。風のない日は発生が高まります。直射日光を浴びない屋内コートなら安心と思われがちですが、屋内は高湿で無風ですので汗が気化せずに体温が上昇しやすいので要注意です。

夏期休暇期間中に大会が多く開催されるのはやむをえませんが、練習の時から積極的に暑さ対策を行い、慢性疲労にならないよう体調を万全に管理しましょう。

3 暑さに慣れておく

５月の連休に熱中症の発生が多いのは、急な気温上昇にまだ慣れていないことと、夏よりも紫外線が強いことも原因です。特に暑さに慣れていない新入生は要注意です。

4 失った水分と塩分を補う

熱中症は脱水がひきがねになります。猛暑日と熱帯夜が続くと慢性の脱水状態になりがちです。特に高齢者の体内の水分量は少なく、水分や塩分を蓄える筋肉量も減少しています。高齢者は喉の渇きを感じにくく、水分不足に気づかず、水分摂取が低下しがちです。また自律神経機能が減退して、汗もかきにくく、体温を下げる機能も低下しますので注意を要します。

プレー中に水分を摂るのが常識になりました。喉が渇いていなくてもエンド交代の時に少しずつ補給しましょう。１～２セットでしたら水だけで充分ですが、スポーツドリンクは疲労軽減に有効です。プレー後のアルコール類は脱水を助長する恐れがありますので注意してください。スポーツドリンクは糖分と塩分が多いので、高血圧や糖尿病の傾向のある人は飲み過ぎに注意しましょう。プロの選手をみると、水とスポーツドリンクを半々に飲むのが一般的です。

5 体重をチェックして汗の量を知ろう

脱水状態を知るには体重測定が役立ちます。プレー後の体重減少は体脂肪の減少と喜ぶのではなく、脱水によるものと理解しましょう。体重測定とともに尿の具合をよくみて、尿の量が少なく、色が濃いのは体が脱水状態である証明です。違反薬物検査のためのドーピングテストでは試合終了直後に一定量の採尿を強いられます。適切に水分を補給して楽勝した選手は試合直後に充分な採尿ができますが、なかには水分摂取不足で採尿に1時間以上も費やす選手もいます。

6 通気性、吸湿性の良いウェアを！

帽子は必ずかぶりましょう。汗でベットリしたシャツでは、汗が蒸発せず、体温がこもりますので、乾いたシャツに着替えましょう。汗を吸い取り、通気性の良い素材の白や明るい色のシャツを選び、休憩中は緩めて熱を逃がしましょう。直射日光を避けるために速乾性の薄手の長袖シャツも有効に利用しましょう。皮膚の露出部位への日焼け止めクリームも役立ちます。最近はいろいろな冷却グッズも市販されていて、首筋や脇の下、太ももの付け根など太い静脈が通る部分を冷やすと効率よく体温を下げることができます。

7 体調を整えておく

運動不足や肥満の人や高齢者は熱中症を起こしやすいので注意しましょう。睡眠不足、疲労、風邪、下痢、強いストレスのある時、二日酔いなど体調不良の時には熱中症の危険が高まります。体調不良は熱中症だけで済まずに脳血管障害や心臓事故発症のひきがねになる恐れもあります。

8 応急処置で大切な３つのポイント

1. まずはクーラーが効いた室内に移動しましょう。さもなくば、木陰や風通りのよい日陰で頭を低くしてねかせましょう。
2. 衣服を脱がせ、乾いたタオルで全身の汗を拭い、氷で首やわき、足の付け根などを冷やします。皮膚に水をかけて扇風機やうちわであおげば体を冷やすことができます。
3. できれば水分と塩分を同時に補給できるスポーツドリンクを飲ませましょう。嘔吐があったり意識がない時は無理やり水を飲ませるのはやめ、首を横に向かせましょう。意識もうろう状態であれば救急車を要請するのが大原則です。市内のコートでは救急車は10分以内に到着しますが、リゾート地など郊外では30分もかかることがありますから、急変に備えてＡＥＤの手配も忘れずに。

グランドスラムの全豪を勝ち抜くには暑さに負けないような対策が最優先されます。主催者側も積極的に暑さ対策に取り組んでいます。ＴＶ観戦もプレーだけでなく各選手の細かい暑さ対策が垣間見られるのも楽しみです。暑さに慣れていても誰でも熱中症になりうるものですので、大事に至らないように早く気づいて、みんなで気をつけましょう。

新横浜テニススクール 好評開催中

（公財）横浜市体育協会主催のテニス教室が、新横浜テニスコートで実施されています。コートはＵＳオープンで使用されているものと同じサーフェスのデコターフです。優秀なコーチ陣のレッスンを受けてみませんか。

【実施概要】

- ○開催日：毎週水・金
- ○レッスン１：9:20～10:50
- ○レッスン２：11:10～12:40
- ○クラス：初級、中級
- ○コーチ：横浜市テニス協会推薦コーチ
- ○受講料：１期14,400円（8週）

★詳細は協会ホームページ（http://yokohama-ta.la.coocan.jp/）をご覧ください。

【問合せ先】横浜市テニス協会
TEL.663-0557　FAX.663-0558

中学生新入部員講習会

『中学生新入部員講習会』を二日間計画し、5月13日（土）本牧市民公園は、あいにくの雨で中止でしたが、7月15日（土）に新横浜公園コート（10面）で実施しました。神奈川県公認・横浜市公認のテニス指導員の方々のご協力も頂き、中学校の部活から、テニスを始めた新入部員を対象に、午前の部、午後の部でそれぞれ3時間レッスンし、元気な声とたくさんの笑顔で頑張ってくれました。今後もテニスの普及活動の一環として、中学生新入部員講習会を盛り上げていきたいと思います。

横浜市テニス協会の100周年事業のお知らせとお願い

横浜市テニス協会は1922年（大正11年）に設立されて以来、大会運営等をはじめ、様々な活動を行い横浜のテニス発展に努めて参りました。5年後の2022年（平成34年）にはめでたく、創立100周年を迎えることとなり、記念事業や記念誌の発行準備を進めております。

記念誌の基本的な構成は協会の歴史、活動状況をはじめ、加盟団体の皆様には団体のご紹介もさせていただく予定ですので、今後、時期が近づきましたらよろしくお願いします。充実した記念誌の作成にあたり、協会設立当時をはじめ、戦前の資料が戦災等により消失してしまい協会事務局にありません。もし、皆様方のお手元に過去の資料（歴史や大会結果等何でも結構です）をお持ちかあるいは、情報をお持ちの方がおられましたら、細かなことでも結構ですので、是非、当協会事務局あてにご一報頂ければ幸いです。

［連絡先］横浜市テニス協会事務局（原則 月・水・金 9:30～16:30）
横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアビル306号
TEL.045-663-0558　FAX.045-663-0558
E-mail　fwpa8936@mb.infoweb.ne.jp

協会インフォメーション

ホームページのご案内

★テニスに関する各種の情報を始め、大会の実施案内や日程等をお知らせするためのホームページを開設しています。掲載内容も、今後とも徐々に充実させていきたいと思います。**http://yokohama-ta.la.coocan.jp/**

平成29年度上期新規加盟団体紹介（3団体）

1 アイネットテニス部　2 サムアップM'sテニスクラブ
3 野村総合株式会社

退会クラブ（2団体）／SHOW−T,P、OTORIクラブ

横浜市テニス協会加盟団体内訳（2017年9月15日現在）

営業クラブ（スクール含む）	64団体
実業団	47団体
同好会	40団体
その他	4団体
合　計	155団体